

平成28年度障害者支援施設静心園事業報告書

障害者支援施設静心園は利用者本位の支援の提供を基本としサービス管理責任者による個別支援計画の策定および定期的な見直しにより利用者様の自己決定を尊重し利用者様一人ひとりの支援計画に基づいたサービスの提供に努めました。また、介護職員を対象とした喀痰吸引等第三号研修機関としての研修の実施や、不審者等の侵入を防ぐ対策として防犯訓練・研修を実施しました。利用者様の人権および尊厳を守るため障害者支援施設静心園虐待防止・権利擁護ガイドラインによる人権侵害防止への取り組みや施設における身体拘束廃止および緊急やむを得ない場合の解除に向けた介護方法を検討し安心・安全かつ良質なサービスの提供と利用者様との信頼の向上に向けて取り組みました。利用者様一人ひとりその人らしい生活を支援することを目的として、「平成28年度社会福祉法人けやきの村事業計画」に基づき、それぞれの事業および分野で次の各項目にそって事業を実施しました。

1. 運営管理及び諸会議

- (1) 施設は、利用者の立場に立った施設支援を提供することを目標に次の整備を行いました。
 - ①殺菌灯式・包丁まな板殺菌庫更新
 - ②浄化槽改修工事（送風機交換）
 - ③浴室内のカーテン更新
 - ④ステーションワゴン車の更新（中古）
 - ⑤デジタル複合機の更新
 - ⑥侵入路防護柵工事
 - ⑦玄関脇倉庫の更新
 - ⑧揚水ポンプ交換修繕工事
 - ⑨暖房設備修繕工事
 - ⑩乾燥器主軸、減速機修理工事
 - ⑪消防設備不良箇所修繕工事
 - ⑫食器消毒保管庫の更新
 - ⑬シューズボックス更新
 - ⑭パソコンの購入
 - ⑮電動ギャジベッド更新2台（年次計画）
 - ⑯吸引、経管栄養用モデルの購入
- (2) サービス提供の主体として、利用者の選択に十分応えることができるよう、サービスの質の向上を図るため「障害児・者のサービス共通評価基準」をもとに自己評価を行いました。
- (3) 個別支援計画作成会議を開催し、利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活を送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めました。
個別支援計画作成会議開催回数；26回
個別支援計画作成対象利用者；52名
- (4) 施設の適正な運営及び行事等の計画立案のため職員会議を開催しました。
職員会議開催回数；19回
- (5) 公正・公平な事業運営と利用者のサービス選択に資するため、サービス内容に関する情報の提供、財務諸表及び事業報告書等の開示を行うとともに、法人機関紙として「けやきの村便り」を3回発行しました。
- (6) 福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を汲み上げ、利用者との施設が対等の関係を築くとともに、利用者本位の福祉サービス提供を実現するために苦情解決体制の推進を図りました。詳細については、「3. 苦情への対応について」を参照。
苦情受付件数；0件

(7) 利用者が施設において安心、安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット報告による未然防止及び事故が発生した場合の再発防止に努めました。詳細については、「4. 事故防止について」を参照。

ヒヤリ・ハット・事故報告件数；185件

(8) 職員の研修会への参加については、福島県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し資質の向上に努めました。

参加した外部研修会	①県研修センター主催による研修会	12回	24名
	②関係団体主催による研修会等	11回	33名

参加した内部研修会及び勉強会

法人主催	研修会	1回	3名
	普通救命救急講習会	2回	6名
施設主催	勉強会	4回	83名
	OJT	1回	20名
	ケース検討会	1回	28名

介護職員等によるたんの吸引等の研修関係

①不特定の者対象の研修	1回	2名
②指導者養成講習会	0回	0名
③特定の者対象の研修	1回	7名

(9) 平成28年度福島市障がい者週間記念事業の実務担当者として2名の職員が参加し、啓蒙活動及び「ふれあいの集いスタッフ」として関わりました。

(10) 中野地区展覧会の実行委員として企画・運営に参画し、地域活動を支える団体としてその一翼を担いました。

(11) 中野小学校のPTCAに参加し、小学校の行事スタッフとして関わりました。

(12) 中野地区大運動会共催団体として、参加しました。

2. 利用者へのサービス提供について

(1) 生活支援

①利用者の生活の質を重視したその人らしい快適な生活が送れるよう、利用者個々の状況及びニーズに基づいた個別支援計画書を作成し、計画に基づき適切なサービスの提供に努めるとともに、適切な時期にモニタリングを行い、利用者の実情に沿った計画の見直しなど、きめの細かいサービス提供に努めました。

②きめの細かい個別支援の提供のため、利用者の状況をできるだけ詳細に記録することに努め、個別支援計画作成やモニタリングに際して貴重な記録となりました。

③防火管理上の安全を図るため、機械室・調理室・洗濯室の火気・電気設備の自主点検を実施しました。

④利用者の身体的機能の維持及び向上を図るとともに、安全で安心できる環境を整え、一人ひとりがその人らしく生活を楽しめるよう個別支援を実施しました。

(2) 各種訓練等の実施

①介護外出

福島市内など(20回実施、延べ41名参加)

②余暇活動

介護散歩 (16回、延べ 36名参加)

カラオケ (52回、延べ1,086名参加)

わくわくデー (7回、延べ 203名参加)

クラブ活動；園芸クラブ (3回、延べ 57名参加)

音楽クラブ (3回、延べ 75名参加)

創作クラブ (5回、延べ101名参加)

調理クラブ (5回、延べ137名参加)

文芸クラブ (2回、延べ 61名参加)
レクリエーションクラブ (3回、延べ 75名参加)

③ボランティアの受入

- *米谷威和臣のやさしい篠笛教室
(民謡、篠笛、尺八演奏; 1回、延べ34名参加)
- *市民オーケストラ (1回、延べ40名参加)
- *聖光学院野球部ボランティア活動
(清掃活動、レクリエーション活動参加; 1回、監督他21名来園)

④お盆休暇・年末年始休暇の帰省状況

お盆休暇 (8月13日～8月16日) 15名 (内日帰り2名)
年末年始休暇 (12月29日～1月3日) 15名 (内日帰り1名)

(3) 父兄参加・地域開放行事の実施

- ①施設主催花見会 (4月23日) 利用者49名、父兄35名、町内会等5名
- ②施設主催納涼祭会 (7月27日) 利用者48名、町内会等10名
- ③法人主催納涼大会 (8月4日) 利用者3名
- ④けやき祭 (9月25日) 利用者44名、父兄22名
- ⑤施設主催芋煮会 (10月22日) 利用者50名、父兄22名、町内会等6名

(4) 対外行事への参加

- ①三井流舞踊感謝大会 (4月3日) 利用者3名
- ②第54回福島県障がい者総合体育大会 (5月15日) 利用者3名
- ③福島市民オーケストラファミリーコンサート (9月19日) 利用者2名
- ④福島市障がい者スポーツ大会 (10月8日) 利用者2名
- ⑤中野地区大運動会 (10月9日) 利用者1名

(5) 対外作品展への出品

- ①福島市福祉作品展出品 (12月3～5日) 2名、2作品 2グループ、2作品
- ②中野地区展覧会出品 (2月11～12日) 3名、3作品 1グループ、1作品
- ③NHKハート展に作品応募1名1作品

(6) 機能訓練

週5日 (月～金) で226日実施
延べ参加利用者人数; 2279人
1日平均人数 ; 10.08人

(7) 集団リハビリテーション

週3回 (火、水、金) で120回実施
延べ参加利用者; 1393人
1日平均人数 ; 11.6人

(8) 健康管理

- ①健康診断の実施
第1回実施期間; 平成28年5月 受診者数; 50名
第2回実施期日; 平成28年11月～12月 受診者数; 50名
- ②結核検診
実施期間; 平成28年11月～12月 受診者数; 50名
- ③体重管理
体重測定; 12回実施
- ④血圧測定; 毎月実施
- ⑤嘱託医出務; 週1回
- ⑥入院の状況
延べ入院者数; 9名 (実人数8名) 平均入院期間; 15日間
- ⑦口腔ケア対策
内容; 歯磨き指導、除石 回数; 47回

- ⑧インフルエンザ予防接種（49名実施）
- (9) 給食状況
 - ①嗜好調査の実施（2月1日～2月28日）
 - ②給食委員会の開催；12回（毎月1回）
 - ③選択メニューの実施回数；53回
 - ④治療食等の実施；糖尿病食1名
 - ⑤刻み食の実施（超刻み食5名・刻み食8名・粗刻み食2名・硬い物一口大13名
ブレンダー食2名）

3. 苦情への対応について

平成28年度における苦情については、下記のとおりです。

苦情受付件数；0件

利用者友の会（自治会）役員と毎月集まりをもち、意見や要望を聞く機会を多く作っており、毎回役員が利用者の皆さんから集めた声や、役員自らが感じていること、考えていることをたくさん出して頂いています。利用者様への対応について、安心して楽しく安全に生活していただけるように、職員一同共通の認識を持ち努力しているところです

4. 事故防止について

- (1) 避難訓練の実施 ; 年8回実施
 - (2) 通報訓練（法人全施設合同） ; 8月24日
 - (3) 総合避難訓練の実施 ; 7月27日、12月26日、延べ2回実施
 - (4) 飯坂消防署による立入査察 ; 7月20日
 - (5) 防災講座；講師、飯坂消防署予防課係長 ; 3月15日
 - (6) 消防設備の点検 ; 年2回
 - (7) たこ足配線等コンセントの点検 ; 随時
 - (8) ヒヤリケース及び事故報告件数について
 - 事故報告件数 ; 1件
 - ヒヤリケース ; 184件
- ヒヤリケース項目別割合については以下のとおり。

項目	件数(割合)
誤薬	3件(1.7%)
誤嚥	0件
異食	3件(1.7%)
転倒	27件(14.7%)
転落	31件(16.8%)
衝突	0件
外傷	23件(12.5%)
その他	97件(52.7%)
合計	184件

利用者様に安全に安心して生活して頂くためヒヤリ・ハット（インシデント）、事故報告書によりリスクマネジメント委員会を開催し事故予防と再発防止に努めました。

5. 施設の利用状況

入所者（定員50名）

	月初めの 現 員	在 籍 延べ日数	外泊・入院 延べ日数	延べ実利用 日 数	利用率
4月	48人	1,459日	8日	1,451日	99.4%
5月	49人	1,519日	13日	1,506日	99.1%
6月	49人	1,484日	31日	1,452日	97.8%
7月	50人	1,529日	42日	1,487日	97.2%
8月	49人	1,519日	36日	1,483日	97.6%
9月	49人	1,470日	12日	1,458日	99.1%
10月	49人	1,544日	28日	1,516日	98.1%
11月	50人	1,500日	9日	1,491日	99.4%
12月	50人	1,550日	25日	1,525日	98.3%
1月	50人	1,550日	39日	1,511日	97.4%
2月	49人	1,400日	16日	1,384日	98.6%
3月	49人	1,531日	44日	1,487日	97.1%
平均	49.4人	1,504日	25.2日	1,479日	

短期入所者（空床利用）

	月初めの 現 員	在 籍 延べ日数		月初めの 現 員	在 籍 延べ日数
4月			11月		
5月			12月		
6月			1月		
7月	1人	10日	2月		
8月	1人	5日	3月		
9月			合 計	2人	15日
10月			平 均	1人	7.2日